

《テキスト》 『上川アイヌ 熊まつり』 収載の祈り詞

北原次郎太

キーワード：アイヌ文化、宗教文化、クマ送り、祈り詞

1. はじめに

本稿は、倉光秀明著『上川アイヌ 熊まつり』(以下、倉光(1953))に収載された祈り詞、踏み舞の詞章について全文を掲載し解説を付すものである。同書に掲載された祈り詞は、旭川地方の宗教文化に関する資料としては他に類を見ない優れた内容を有している。しかしながら、刊行から60年が経過し今日では一般読者にとって必ずしも入手・閲覧が容易ではないこと、アイヌ語表記が現代とは異なるため初学者にとってはそこに書かれたアイヌ語の音が把握しづらいこと、祈り詞に特有の難解な語彙・表現を多く含むことといった利用上の難点がある。そこで本稿では、同資料の利用度を上げることを目的として、原書のカタカナ表記と和訳文に加え、カタカナ表記から推測される語形をローマ字表記で示し、適宜注釈を加えた。

2. 資料概要

倉光(1953)は、1953年10月25日に紋別市内の南が丘球場グラウンドで行われたクマ送りの記録をベースとしている。当日の式次第にそって写真と解説を配置し、読者は儀礼の流れを擬似的に体感しながら全体を理解するという構成になっている。

2-1. 写真資料

倉光(1953)に掲載された写真は上川神社福宜柴田直臣および紋別町フタバ写真館本堂定吉の撮影とされている。祭壇や祭具、祈りを捧げる人々、舞踊の様子などが写されている。このうち特にp21、p27、p31、p37、p45に掲載された祭壇のカットは希少である。絵葉書等も含め祭壇を写した写真は多いが、それらは記録を意図したものではないから、最も華やかに見える大型のイナウなど特定の箇所・構図に偏りがちであり、資料数がある割に情報が少ない。これに対し同書に掲載された写真には、祭壇の全体像や様々な角度から撮影したカットが含まれている。これを見ると、例えば旭川地方の祭壇には、日高地方で言うところの *pon sutu inaw* (棒状の木の外皮を羽状に剥き起こし、上部に削りかけを挿したイナウ) が立たないということがよくわかる。その他、祭壇を組むための技術も含めて、多くの情報を含んだ極めて重要な資料である。

なお、紋別市博物館にも、当日の様子を撮影したスライドが14カット保管されており、『紋別郷土博物館友の会だより とっかり』第11号(1990)に掲載されている。

2-2. 話者

倉光(1953)には inonnoitak『祈り詞』30編、tapkar「踏み舞」の歌3篇、yaysama「即興歌」1篇、upopo「輪唱歌」数篇、cikap upopo「鶴の舞」の歌1篇、ihunke「子守唄」1篇が収録されている¹。祈り詞の多くは砂澤トウアカンノ(市太郎)氏²が語ったものである。砂澤氏は紋別のクマ送りには参列していないと推測されるが、それにも関わらず多くの祈り詞を収録した経緯を、編者は次のように書いている。

「…アイヌ語の聞き誤りも言語そのものの解釋にも間違ひがあるかも知れないが、その内容に間違ひのないことを、古老砂沢市太郎ことトウアカンノエカシに再三念を押して確かめていた。そのトウアカンノエカシも本年阿寒湖畔の地で卒病のために享年六十二歳で他界した。思へば今日あつて明日ない生命の中で傳へ残して余りある傳統の文化資料を持ちながら、幽界に往かれたことは惜しみて余りあるエカシの生命であつた。生前アイヌ祝詞集を發表する約束であつたが、余りに敢えない別れのため、その約束も果し得ず今日に至つたものであるが、今は故人を忍びつゝようやくこゝに機会を得てその一端を發表する運びとなつた。」(同書巻頭「発刊によせて」より)

これによれば、編者は生前に砂澤氏から祈り詞等の聞き書きをしており、同書に収録されたのはその一部ということになる。話し手自身の校訂を経ている点は、同書の資料性を考える上で重要である。

このほか、紋別でのクマ送りを執り行つた門野ナンケアイヌ氏、門野ハウトムテイ氏、石山アツミヤシクル氏らの言葉も掲載されているが、いずれも旭川地方のアイヌ語および宗教儀礼に通じた人々であり、即興歌を演じた杉村キナラブク氏も、アイヌ語の流暢な話し手である。なお、砂澤氏や杉村氏は近代以降に石狩川中流域から旭川地方へ移住した人々である。したがって、旭川の人々とは若干言葉遣いが異なるという。

3. クマ送り概要

クマ神への霊送り(クマ送り)には狩猟したクマを対象とするものと、飼ひグマ送りの2タイプがあり、紋別で舉行されたのは後者を模したもので、多数の見物客を集めて実施された。本祭の後半でクマを殺害する方法には仕留め矢のみを使う地域と、首を丸太で挟む過程を伴う地域があるが、旭川は後者の様式である。このときの祭壇は北西向き(海向き)に立てられていたという[因幡・佐藤1990]。倉光(1953)のインデックスを元に、式次第を整理すると以下のようになる。式の全体は大き

¹ 同書に掲載された踏み舞3篇は、知里(1973(1960))のpp.53-55に引用されている。このことは同書の内容が旭川地方のアイヌ語資料、特に祈り詞や踏み舞などの資料として優れたものであるとともに、当時においても容易に得難いものであったことの表れであろう。

² 以下、人名や式次第に関するアイヌ語は特に断らない限り同書記載の通りとする。

く①「前夜祭」、②「本祭（諸神への祈り～弓射）」、③「後日祭（頭部の飾り付け～クマ神の送り出し）」の3つの段階にわかれる。インデックスにあるチセコロカムイへの祈願が本文には無いなど、部分的に異同がある。

3-1. 式次第

①	熊祭り前夜祭式次第 イヨマンデエトコオイキ(p2～)
①-1	御幣の準備 イナウケ(祭壇御幣ヌササンイナウ13本、火の神御幣アペイナウ2本、入口の神御幣アパチヤイナウ2本、家の神御幣チセコロイナウ1本、結び木の神御幣トウスコツニイナウ1本)
①-2	弓と弓矢の準備 エペレイカル(弓はエリマキの木に桜の皮を巻く、花矢は鷹の羽を付け、矢根はサビタにアイヌ彫り、牡熊当歳30本、(牡熊2歳2倍の60本)止めの本矢3本5本)
①-3	餅搗き シトウタ(杵歌 ユウタウポポ)
①-4	祭具及供物準備仕上 エペレシケカル
①-5	火の神への祈り アペフチカムイノミ
①-6	熊に餅を与へる エペレシトエレ
①-7	酒宴(歌踊 ウポポ、歌と囃子 ヤイサマ、神謡 カムイユウカラ、神前の舞 タプカラ)
②	熊祭り本祭式次第 イヨマンデ(p22～)
②-1	火の神への祈り アペフチカムイノミ
②-2	家の神への祈り チセコロカムイノミ
②-3	家外に出て神祈り カムイノミ(国及部落神コタンコロカムイ、その土地の神シランバカムイ、武勇の神ホロケウカムイ、幸運の神ヒトウンベカムイ、山の神キムンカムイ、獵の神イソアニカムイ、涯路の神クツコロカムイ、神事受持の神 ヌサコロカムイ、幸を教へる神 チャツチャクカムイ、危難救ひの神 ウパシチロンノツプカムイ、水獵の神 カツケウカムイ、水の神 ワツカウシカムイ、結び木の神への祈り トスコツニカムイノミ、子熊に餅を与へる エペレシト、子熊への祈り エペレノミ、
②-4	子熊に2本の花矢を送る エペレコロアイ、右同時に歌と踊り ウポポ
②-5	止めの本矢を射つ イノソレアイ
②-6	子熊の首を絞める イレクツヌンパニ(イライニ)
②-7	熊を祭壇に祀る
②-8	御馳走供す
②-9	クルミ撒き ニヌムチャリ
②-10	熊の霊への祈り キムンカムイノミ

②-11	神前の歌舞 タブカラ、歌と踊り ウポポ、鶴の舞 チカツブウポポ
②-12	弓矢遊び ウコアイアマ
②-13	剣の舞 エムシウポポ
②-14	観衆ある場合の行事終り
②-15	皮剥ぎ前の祈り
②-16	解体
②-17	帰家
②-18	火の神への祈り
②-19	直会
②-20	終り
③	熊祭り後日祭式次第イヨマンデマラツトオプニ (p78～)
③-1	火の神への祈り アベフチカムイノミ
③-2	熊頭骨を皮より外す ウンメンケ
③-3	頭骨を祀る エペレサパオプニ
③-4	熊の霊を送る祈り オクユクカムイノミ
③-5	歌踊 ウポポ、歌と囃子 ヤイサマ、神話 トウイタツク、神傳 オイナ、神謡 ユウカラ、神前の舞 タブカラ、鶴の舞 チカツブウポポ
③-6	終り

3-2. 祭壇の祭神配置

祭壇上段左から³：コタンコロカムイ、シランパカムイ、ホロケウカムイ、ヒトウンベカムイ、
イソアニカムイ、キムンカムイ、クツコロカムイ

祭壇下段左から：ヌサコロカムイ、チャツチャクカムイ、ウパシチロンノツプカムイ、
カツケウカムイ、ワツカウシカムイ

②本祭の後半に、見物客に対して終了を告げる場面がある。この後が儀礼の最も重要な場面だが、そこは非公開としたようだ。同書中には上記式次第の各場面の写真が収められているが、クマを解体する場面、頭部を飾り付ける場面の写真がない。儀礼の最終段階の祭壇には、飾り付けられたクマの頭骨が高く掲げられるが、写真の祭壇にはそれが見えない。あるいは、このクマ送りは殺害のシーンまでを模擬的に行い、その後は別に用意したクマの毛皮などを使って形式的に儀礼を進行したとも考

³ 上段の神々は削りかけが長い木幣、下段の神々には削りかけの短い木幣が捧げられている。

えられる⁴。他の関連資料としては、この時に使用したと思われる木幣の一部と花矢が紋別市博物館に収蔵されている。

凡例

- ・原書のカタカナ表記アイヌ語、和訳をそのまま転載し、ローマ字表記アイヌ語を加えた。
- ・ローマ字表記のアイヌ語は、カナ原文から推定される形を示したが、語形が不明な箇所には(?)を書き添え、原書の文字が判読できない箇所は■で表した。
- ・整理のために、祈り言葉に通し番号を付した。

4. 祈り詞テキスト

①前夜祭 火の神へ (祈り手: トウアカンノ) pp. 10-11

アベウチカムイ	ape uci kamuy	火の神
メドツコロカムイ	metotkorkamuy	奥山の神の
カムイオポイサム	kamuy opoysam ⁵	神の幼子を
アコロブサンケ	a=kor po sanke(?)	汝(みまし)の御子として
ピリカサマ	pirka sama	美しい姿に
ラツチスクツ	ratci sukup	育てる事が出来ました
オオマサマ	oomasama	そのため
タネアナクネ	tane anakne	いよいよ
ニサツタダ	nisatta to ta	明日は
ヌサコロカムイ	nusakorkamuy	祭壇の神の
ヌサソバケ	nusa so pake	上座の方
ヌリサンケセ	nusasan kese	下座の方に
エコタツカラクニ	ekotapkar kuni	踊り立たれる
アネトコオイキシリ	an=etokooyki siri	儀式の仕度として
イナウトウラ	inaw tura	御幣
ピリカチロシ	pirka cirosi	美しい花矢
エコウナンカラトノトピリカプ	ekotunankar tonoto pirka p	並に美しい酒

⁴ ただ、この儀礼を見学していた市民(当時小学生)によれば、儀礼の中で血を見た覚えがあるという。同氏によれば、クマ送り見学は個人的に行ったものではなく、学校の行事であったという。また、写真には当時の新制中学校の帽子をかぶった児童も写っている。

⁵ 子孫。kamuy opoysam という慣用句で使われる。鍋澤・扇谷(1966)p85、p87。田村(1996)p476には opoysan という形が見られる。

シトネヤツカ	sito neyakka	餅と
チエツブネヤツカ	cep neyakka	魚等
カムイシリトコ	kamuy siri toko(?)	神の御前に
エリキンクニツク	erikin kuni p	捧げ奉るものを
クカラシリアンナ	ku=kar siri an na	作って居ります
イナンベサマ	inanpe sama	何れに
イキヤツカ	iki yakka	致しましても、これは
カムイオナ	kamuy ona	神の父
アムイウヌ	kamuy unu	神の母
ウタラオロケ	utar orke	うからやからへの
エコイモカコロクニ	ekoimokakor kuni	お土産ものとして
ネワシランナ	ne wa sir an na	であります
タパンベアナツク	tapan pe anak	これ等は
カムイブリ	kamuy puri	神への敬ひの
ネワクス	ne wa kusu	しるしであります
ラツチタラ	ratcitar	何卒過つことなく
シルトウクニ	sirutu kuni	儀式の行はれますよう
アケイトウムカシ	a=keytumu kasi ⁶	謹んで
エコイノンノアンナ	e=koinonno=an na	お祈り致します

②前夜祭 火の神へ (祈り手：ナンケアイヌ) p12

アベフチカムイ	apehucikamuy	火の神
カムイエカシ	kamuy ekas	尊い神
カムイボンポシタ	kamuy pon posta ⁷	神の子熊のため
タントヨツタ	tanto y otta	今日より
ピリカタプカラ	pirka tapkar	美しい行事に
キシリタバナ	ki siri tapan na	入りました
ヌサコロカムイ	nusakorkamuy	祭を執りもつ

⁶ ここでのア (a=) は2人称敬称と解釈した。沙流川流域の祈り詞にも、このように神の立場を2人称(敬称)で表す言い回しが見られる。倉光(1953)の中では、ほかに祈り⑥-5、⑥-10、⑧-17、⑨-9、⑩-9、⑩-14、⑩-10、⑩-15、⑭-13、⑯-9、⑰-2、⑰-6、⑰-12、⑰-15、⑱-2、㉑-4、㉑-5、㉑-13にも同様の用法が見られる。全て砂澤氏の述べた祈りであり、門野氏、石山氏の祈りには2人称が全く用いられていない。1例だけ、石山氏による祈り⑤-4には敬称と同じ形が見られるが、これも1人称複数や受身の用法など、複数の解釈が可能である。

⁷ 男の子。服部編(1964)p34。

カムイエカシ	kamuy ekas	尊い神へ
イランマカカ	iranmakaka	足はぬものなく
カムイイモカ	kamuy imoka	神の供物を
ピリカイモカ	pirka imoka	美はしい供物と
チオイクシ	cioykus ⁸	お納めできますよう
シリタバナ	siri tapan na	御願致します

③前夜祭 踏み舞 (演じ手：ナンケアイヌ) p16

カムイタブカラ	kamuy tapkar	神に捧げる踊りと歌に
ピリカシノツチャ	pirka sinotca	美しい節をつけて
カムイチオイクシ	kamuy cioykusi	神にお送り
シリタバナ	siri tapan na	致します
イランマカカ	iramakaka	すべてのものを
カムイポンポシタ	kamuy pon posta	神の子熊に
ピリカタプカラ	pirka tapkar	美しい手振
テキサマタ	teksama ta	をもつて
イランマカカ	iramakaka	きれいさつぱりと
チオイクシ	cioykusi	お送りする
クキハエタバン	ku=ki hawe tapan	ことであります

④本祭 火の神へ (祈り手：トウアカンノ) p24

アベフチカムイ	apehucikamuy	火の神に
タバイクパシユイ	tapan ikupasuy	このお箸をもつて
タバントウキ	tapan tuki	このお盃で
タバントト	tapan tonoto	このお酒を
エチキコリキンデアンナ	eci=korikinte=an na ⁹	お捧げ致します
メツコロカムイ	metotkorkamuy	奥山の神の
カムイオポイスム	kamuy opoysam	神の子熊は
タネアナクネ	tane anakne	いよいよ

⁸ 久保寺 (1992) p183 「oiki-ush いぢる、手をかけ世話をする」。ここでも支度、用意という意味に解釋した。

⁹ 石狩方言では es=が一般的。

ヌサコロカムイ	nusakorkamuy	祭壇の神の
イヌサソカシ	inusa so kasi	祭壇の前に
コタツカラクスネナ	kotapkar kusu ne na	踊り立たれるのであります
アノミカムイ	a=nomi kamuy	諸々の神も
シネツプシリネ	sine p siri ne	喜んで
タバンネウサラ	tapan newsar	この祭の庭に
エコニワスツヌワ	ekoniwasnu wa	馳せ参られて
ラツチネウサラ	ratci newsar	厳かな祭が
オオマヤクン	ooma yakun	進められたならば
カムイオロワノ	kamuy orowano	神々も喜ばれ
ラムチエ	ramu ciye ¹⁰	お褒めの言葉を
アネカラカラナンコロ	an=ekarkar nankor	頂かれること信じます

⑤本祭 火の神へ (祈り手: アツミヤシクル) p25

アベフチカムイ	apehucikamuy	火の神の
カムイボンエペレ	kamuy pon epere	神の子熊と
タネバツクノ	tane pakno	取り扱はれ
ピリカノアン	pirkano an=	今は立派に
レスカワ	reska wa	育てあげ
スウランコツ	sir an kor	れらたので
ヌサタプカラ	nusa tapkar	神の御前の儀式に
ピリカタプカラ	pirka tapkar	美はしい踊りを
イキワネヤツカ	iki wa neyakka	振りよくつとめ
インネニシパ	inne nispa	偉いお方や
ウタツ トウラノ	utar turano	多くの人々に
ピリカタプカラ	pirka tapkar	いともよき手振と
エキワ	eki wa	褒めたたえられ
エシヌカレ	esinukare ¹¹	観賞されますよう
キナンコロナ	ki nankor na	お祈り致します

¹⁰ ramu ye に ci が接続して「讃えること」という名詞的な意味になっている。

¹¹ 久保寺(1992)p68 「神様へ上げる」。

⑥本祭 シマフクロウの神へ (祈り手：トウアカンノ) p28

コタンコロカムイ	kotankorkamuy	国土の神たる
オンネカムイ	onne kamuy	尊い神
ホシキエカシ	hoski ekas	先祖より
パアセアノミ	pase a=nomi ¹²	重い儀式をもつて
アネワシラン	a=ne wa sir an	お祭りをし
オリバツトウラノ	oripak turano	今 又
トススケトラ	tususke tura	恐こみ恐こみ
クエロツイタク	ku=ye rok itak	私の申上げる言葉を
チコホサリ	cikohosari	聞えあげ
アンエンカラカラナ	an=en=ekarkar na	お受け下さい
ウタリツトウラノ	utar turano	我々同族の
ラツチスクツプ	ratci sukup	平和な生活が
シルトシリ	sirutu siri	続けられて行くさまを
クヌカリヒケ	ku=nukar hike	見るとき
パセイタラ	paseitara	神の稜威の現れと
ヤイライケネ	yayrayke ne	有難く
クキワアンナ	ku=ki wa an na	感謝の心に満ちて居ります

⑦本祭 シマフクロウの神へ (祈り手：アツミヤシクル) p29

コンタコロカムイ	kotankorkamuy	国を守る神は
カムイエカシ	kamuy ekas	神の中の司である
テイタワノ	teeta wano	太古
モシツチヤシワノ	mosir ciasi wano	国の初まりから
タンアンコロコタン	tan an=kor kotan	この我等の国を
ヤクコロカムイ	yaku kor kamuy	守護なさる神です
タバントト	tapan tonoto	このお酒は
イレスフチ	iresu huci	火の神を
オソンココテ	osonkokote	通じて
イナウトウラノ	inaw turano	御幣と共に
コタンコロカムイ	kotankorkamuy	国守る神に

¹² paseonkami 「尊貴神」と同じような意味か。

アコイナウブニ	a=koinawpuni	捧げます
シリタバナ	siri tapan na	この様に致しますによつて
ピリカノ	pirkano	美はしくよい
アンコロコタン	an=kor kotan	我等の国となすべく
エブンキネワ	epunkine wa	お守りあらんことを
エンコレヤン	en=kore yan	祈るのであります

⑧本祭 森林神へ（祈り手：トウアカンノ） p30

シランバカムイ	siranpakamuy	土地の神たる
パアセカムイ	pasekamuy	尊い神
テエタワノ	teeta wano	大昔から
エカシカラプリ	ekas kar puri	先祖代々
シンリソカラプリ	sinrit kar puri	私の父の世まで
イキワクス	iki wa kusu	教へられて来た
イナウウツクカムイ	inaw uk kamuy	御幣を受けられる神よ
カムイイソ	kamuy iso	神の恵みを
コオンルプスネ	koonrupus ne	授けられたく
クキワ	ku=ki wa	望み望んで
クアツプカシシリ	ku=apkas siri	努め廻つて居る
ネワアンナ	ne wa an na	わけであります
イナウカムイ	inaw kamuy	祭り尊ぶ御幣の神よ
トウピリカイソ	tu pirka iso	よき獲物を
レピリカイシヨ	re pirka iso	二重にも三重にも
チコエカシヌカラ	cikoekasnukar	お授け下さるよう
アンエネカラカラナ	an=en=ekarkar na	お願致します

⑨本祭 オオカミ神へ（祈り手：トウアカンノ） p32

ホロケウカムイ	horkewkamuy	勇気の神と坐す
パアセカムイ	pase kamuy	尊い神よ
テエタワノ	teeta wano	古より
カムイオツタ	kamuy or ta	神の
ネヤツカ	neyakka	中でも

ラメツクシンネ	rametok sinne	いとも雄々しく
ウトラバシンネ	utarpa sinne	抜け出でて
アバセラム	a=paseramu	頼みに思う
カムイアネワシラン	kamuy a=ne wa sir an	神なれば
インキイホロ	inki iwor	何処の野山を
コアツプカシヤツカ	koapkasi yakka	廻り歩むとも
ラムツツプテツサツクノ	ramucuptek sakno	心のおぢる事もなく
ネプイラマンデネヤツカ	nep iramante neyakka	如何なる獲物に向ふにも
ウタラトウラノ	utar turano	我々同族が
エコアリキキ	ekoarikiki	心を強く
エアスカイクニ	easkay kuni	出来るように
チカシヌカラ	cikasnukar	勇気と力を
エネカラカラヤン	en=ekarkar yan	与へ給へ

⑩本祭 キツネ神へ (祈り手：トウアカンノ) p34

ヒトウンベカムイ	hitunpekamuy ¹³	幸運の神を
オンカミアンナ	onkami=an na	拝み奉る
アタナイヌクネワ	atanan aynu ku=ne wa	生きとし生ける人等は
トウスサツペクネワ	tususat pe ku=ne wa	狭霧の中に立迷ふが如きものなれど
シヌプルカムイ	sinupurkamuy	神こそは
エランペテツペ	erampetek pe	見晴かし端山奥山何処の果までも
シネツカイサム	sine p ka isam	何一つとして見えざるものはあらざるべし
ウネノカムイ	uneno kamuy	されば神々の
アネワクス	a=ne wa kusu	いとも親しき
ウネノカムイ	uneno kamuy	神々と
ピリカコアスルコロアキワ	pirka koasurkor a=ki wa	よく言伝へ語り計りて
ラツチイソ	ratci iso	豊けき幸を
チコエカシヌカラ	cikoekasnukar	給はらんことを
アンエネカラカラナ	an=en=ekarkar na	ひたすらお祈りお願申します

¹³ situnpe 「クロギツネ」と同じか。

⑪本祭 狩獵神¹⁴へ (祈り手：トウアカンノ) p36

イソアニカムイ	isoanikamuy	獵の神たる
パアセカムイ	pase kamuy	尊い神
アイヌモンカ	aynu mon ka	人の善き行の上に
エコイカシヌカラベ	ekoekasnukar pe	お授け下さる
イソネワシラン	iso ne wa sir an	獵と信じます
エカシオロワノ	ekas orowano	先祖から
シンリツオロワノ	sinrit orowano	父の代まで
イナウソバケ	inawsopake	御幣の頭につけられた印を
チコシルワンデ	cikosiruwante	お調べ下さって
アンエネカラカラワ	an=en=ekarkar wa	私の清きところを
イナウオペペカムイ	inaw opepe ¹⁵ kamuy?	御幣の印でお見届の上
カムイイソ	kamuy iso	神の恵みの
イソオラン	iso oran	獲物を
チコエカシヌカラ	cikoekasnukar	お授け下さるよう
アンエネカラカラナ	an=en=ekarkar na	ひたすらお願申します

⑫本祭 子グマの親神へ (祈り手：アツミヤシクル) p38

カムイポンエペレ	kamuy pon epere	神のお授けになつた子熊は
タバンタネバツクノ	tapan tane pakno	今の今まで
イレスフチ	iresu huci	火の神の恵みをうけ
オロワアレスカワシラン	orowa a=reska wa sir an	これまで養はれて来ましたが
カムイブリネブス	kamuypuri ne kusu	神の掟のまゝに
ヌサタプカラ	nusa tapkar	祭の儀式に
タプカラシリタバナ	tapkar siri tapan na	舞を奏します
カムイポンエペレ	kamuy pon epere	神の子熊の
カムイシンリツ	kamuy sinrit	親神に
タバンイナウ	tapan inaw	この御幣を
クエブニスタバナ	ku=epuni sir tapan na	祀り
イナウネヤツカ	inaw neyakka	御幣と

¹⁴ エゾフクロウか。

¹⁵ 萱野(1996)p179に opeope 「たどる、話の筋をたどる」とある。opepe もこれに近い意味と考えられる。

サケイトウラノ	sake turano	お酒とを
クリキンデ	ku=rikinte	お供へします
シリタバナ	siri tapan na	この様にお仕へすることを
ウク	uk	お受けあらんことを
エンコレヤン	en=kore yan	お願申します

⑬本祭 崖路の神へ (祈り手：記載なし) p40

クツコロカムイ	kutkorkamuy	崖路の神に
エノミアンナ	e=nomi=an na	御酒を捧奉り
チエプンキネ	ciepunkine	いつまでも達者で働けますよう
チカエカシシマ	cikaesikasma ¹⁶	お守り下さいと
エンコレヤン	en=kore yan	お祈り申します

⑭本祭 祭壇神へ (祈り手：トウアカンノ) p42

ヌサコロカムイエカン	nusa kor kamuy ekas	神の中取持つ斎主？の神
タバントタ	tapan to to ta	今日このところに
カムイエコイカラプリネワクス	kamuy ekoykar puri ne wa kusu	神の御祭を致します
アノミカムイ	a=nomi kamuy	諸々の神へ
イナウトウラノ	inaw turano	御幣と共に
トノトウラノ	tonoto turano	御酒をも
クリキンデシリ	ku=rikinte siri	捧げ奉る
ネワシリアン	ne wa siri an	のでありますが
アタナナイヌクネワ	atanan aynu ku=ne wa	我々俗人として
クエイタツク	ku=ye itak	申上る言葉に
ハイタウシ	hayta usi	洩れ落ちる
アンワネヤツカ	an wa neyakka	ところがあつても
カムイアネクス	kamuy a=ne kusu	中取持の神であれば
ピリカイトツク	pirka itak	美しい言葉を
コエトレンノ	koeturenno	連ねて
タバインモカ	tapan imoka	このお供へ物を

¹⁶ 服部編(1964)p51、sikasma「守る」(宗谷)。久保寺編(1992)p242、shikashma「庇護す、保護す、保管す、世話する、助ける」。

カムイエピステワ	kamuy episte wa	それぞれの神の御許へ届くよう
エンコレヤン	en=kore yan	御取計ひを願ひます

⑮本祭 祭壇神へ (祈り手：ナンケアイヌ) p43

ヌサコロカムイ	nusakorkamuy	祭事を受持たれる
カムイエカシ	kamuy ekas	尊い神よ
タネアナツネ トノネマヌ	tane anakne tonone manu p	只今より祭り送る子熊は
トノニシパウタラ	tono nispa utar	立派な人達の手によつて
コタンコロクス	kotan kor kusu	この街に育成されたものであります
メツコロカムイ	metotkorkamuy	奥山の神の
カムイオボイスム	kamuy opoysam	神の子熊は
シレシカルヤルワ	sireskayar wa?	養ひの場所を出でて
タントヨツタ	tanto y otta	今日の御祭に
ピリカタプカラ	pirka tapkar	美はしの舞と踊りを
キシリネルタバナ	ki siri ne ru tapan na	これより行ひます
ヌサコロカムイ	nusakorkamuy	祭事受持の神に
オソソココテワ	osonkokote wa	御祈りし御力にすがつて
カムイオボイスム	kamuy opoysam	神の子熊を
チオイクシキシリタバナ	cioykus ki siri tapan na	送りますについては
ヌサタプカラ	nusa tapkar	何卒神前の儀式をば
ピリカタプカラ	pirka tapkar	立派に厳かに
キシリタバナ	ki siri tapan na.	行はせて下さい

⑯本祭 チヤツクチヤツクカムイ¹⁷へ (祈り手：トウアカンノ) p44

チヤツチヤクカムイ	cakcakkamuy	幸を教へ導く神たる
トシリポクウンカムイ	tosirpokunkamuy	奇魂の神
アイヌモンカ	aynu mon ka	人の努力に
ニコイカシヌカラベ	ekoekasnukar pe	添ひともなはれる
イソネワシリアン	iso ne wa siri an	恵であればこそ
オオマサマ	oomasama	それがために
ク■ラア■カシ	ku■ra apkasi?	私は努力して居るのです

¹⁷ ミソサザイの神か。tosirpokunkamuy も釧路・屈斜路でミソサザイを指す。

イソオランクニ	iso oran kuni	何卒希望の方向に導きますよう
アケイトウムカシ	a=keytumu kasi	御神徳に
エコオンカミ	ekoonkami	すがり拝み
クキワアンナ	ku=ki wa an na	奉ります

⑰本祭 エゾイタチの神へ (祈り手：トウアカンノ) p46

ウパシチロンノツプカムイ	upascironnupkamuy	危機救ひの神
カムイアネワ	kamuy a=ne wa	神はすべて
シケトコロケ	siketok orke	先の先まで
チヌマカカ	cinomakaka	よく見える
シヌプルカムイ	sinupurkamuy	御神徳をお持ちに
アネワシラン	a=ne wa sir an	なつて居られる
カムイオツタネヤツカ	kamuy or ta neyakka	神と言はれる者の中でも
ウエンケイトウム	wen keytum	悪意をもつてゐる
ウエンペカアン	wen pe ka an	悪魔もある
ネワネヤツカ	ne wa ne yakka	然し
モトコロカトウ	moto kor katu	自分■は祖先から
アンネパカスヌワ	an=epakasnu wa	教へを戴いた通り
ラツチケイトウムコロワ	ratcikeytum kor wa	素直な氣持をもつて
イナウウツクニ	inaw uk kuni	神を祭るのであるから
アネパカスヌクニ	an=epakasnu kuni	正しい行方は教へられ
アケイトウムカシ	a=keytumu kasi	汝の御神慮の程を
エコイネネ	ekoenene ¹⁸	お示しあらんことを
クキアエタバン	ku=ki awe tapan	お願申します

⑱本祭 カワガラスの神へ (祈り手：ハウトムテイ) p47

ワツカウシカムイ	wakkauskamuy	水の神の
コヤンドネカムイ	koyantone kamuy	お使に立つて
カツケウカムイ カムイチカツ	kakkew kamuy kamuy cikap	水の面を飛び行く神に
エノミアンナ	e=nomi=an na	お酒を捧奉りお祈り致します
イランマカカ	iranmakaka	何事によらず

¹⁸ 久保寺(1992)p61、enene「面を向ける、向ける、転回す」。

イコニカラワ	i=koinkar wa	よりよき運をお授け下さるよう
エンコレヤン	en=kore yan	願申します

①本祭 水の神へ (祈り手：トウアカンノ) p48

ワツカウシカムイ	wakkauskamuy	水の神
アコロトベ	a=kor tope	神の賜物白珠の乳
エチリリトベ	ecirir tope	したたるそのお乳の
アネワクス	an wa kusu	あるために
ウタツウラノ	utar turano	人とし生ける我々は
ラツチスクツブ	ratci sukup	栄え行く生活を
シルトウシリ	sirutu siri	送ることが出来ますことを
パセイタラ	paseitara	尊く思ひ辱けなく
オンカミアンナ	onkami=an na	御礼申します
ウタラトウラノ	utar turano	又我が人共が
ペタルソカワ	petaru so ka wa	水の面に向けて
ネツプチエツブ	nep cep-	何のすなどりの
コイキ	koyki	仕事を
チキヤツカ	ci=ki yakka	致しましても
アブンノボ	apunnopo	平けく安けく
ウンエヤウンワ	un=eyam wa	お守りあらんことを
エンコレヤン	en=kore yan	願申します

②本祭 子グマをつなぐ杭の神へ (祈り手：トウアカンノ) p52

トウスコツニカムイ	tuskotnikamuy	熊の紐を持たれる木の神
タネワノ	tane wano	只今より
オクユクカムイ	okuyuk ¹⁹ kamuy	奥山の神の
カムイオボイサム	kamuy opoysam	神の御許に行かれる子熊が
ヌササヌカタ	nusasan ka ta	祭壇の神の御前に
タップカラシリネ	tapkar siri ne	舞ひ踊られます
エカツタラインネ	ekattar inne	この前には子供も
オンネクルインネ	onnekur inne	老人も沢山

¹⁹ 雄グマ。

セコランサマ	sekor an sama	参列されて居りますから
ウタラ	utar	これ等の人等すべてに
エブンキネ	epunkine	怪我過ちなきよう
ニワエンコレ	ki wa en=kore	お守りをお願いします

㊸本祭 子グマをつなぐ杭の神へ (祈り手：ナンケアイヌ) p53

ヌサコロカムイ	nusakorkamuy	祭壇の神を取持つ
カムイエカシ	kamuy ekas	尊い神の
コラソソコ	kor a sonko	御前に申し上げます
メトツコロカムイ	metotkorkamuy	山の神よりおつかわしになつた
カムイオボイサム	kamuy opoysam	神の子熊を育て
ピリカタプカラ	pirka tapkar	美しい言葉と儀式をもつて
ピリカイモカ	pirka imoka	立派な送物を
チオイクシ	cioykus	お送り申すべく
トウスコツニカムイ	tuskotnikamuy	神の国での土産物の
ヌサタプカシ	nusa tapkasi	御幣を祀り
エランマカカ	iranmakaka	誠心をつくして
トウスコツニカムイ	tuskotnikamuy	木の神に祈り
チオイクシ	cioykus	を捧げ
ピリカタプカラ	pirka tapkar	美しい歌と踊りで
シネツコラチ	sine p koraci	皆なで
チオイ クシ	cioykus	送りの
シリタバナ	siri tapan na	行事を致します

㊸本祭 子グマへ (祈り手：トウアカンノ) p54

クコロポンエペレ	ku=kor pon epere	我が愛しの子熊よ
タネアナツネ	tane anakne	いよいよ
カムイカラプリ	kamuy kar puri	神の御教へ
エカシカラプリイキワクス	ekas kar puri iki wa kusu	先祖の御教にしたがつて
ヌサソウカタ	nusa so ka ta	祭壇の前に進み
エコイタプカラ	e=koetapkar	汝の神を称える
エコラタツカラ	e=kor a tapkar	汝の振舞こそ

ピリカヤクン	pirka yakun	みめ美はしく
カムイエネウサラ	kamuy enewsar	神を喜ばしめ
アタナナイヌ	atanan aynu	我々も共に
ピリカネウサラキナンコロ	pirka newsar ki nankor	よき行ひを喜ぶのである
アイヌフラ	aynu hura	今こそ人の世の穢れを
サツクニネ	sak kunine	祓ひ清めんと
タクサアニ	takusa ani	祓ひの行事も
カシチキツ	kasi cikik ²⁰	修めてやる
エチカラカラアンナ	eci=ekarkar=an na	ことである
ラツチシノツ	ratci sinot	和やかに神わざを
キワエンコレ	ki wa en=kore	おし進めて頂きませう

②③本祭 子グマヘ (祈り手：トウアカンノ) p56

クコロポンエペレ	ku=kor pon epere	我が愛しの子熊よ
タバンアイク	tapan ay ku	この花矢こそは
カムイモシリタ	kamuy mosir ta	神の国には
ピリカイコロネ	pirka ikor ne	立派な寶物として
エリキンクニツ	erikin kuni p	称えられる
ネワクス	ne wa kusu	ものであれば
ラツチイタラ	ratcitarā	よろこんで
ウツクワエンコレ	uk wa en=kore	受取つて下さい

②④本祭 子グマヘ (祈り手：アツミヤシクル) p56

カムイポンエペレ	kamuy pon epere	神の子熊に
コロアイ	kor ay	持たせる矢です
カムイニシパ	kamuy nispa	神の親神も御照覧あれ
オエクシアイ	oykus ay	寶の矢をば
オマンデ	omante	送り持たせる
シリタバanna	siri tapan na	のであります

²⁰ kasi kikにciが接続して「お祓いをする事」という名詞的意味になっている。

㊸本祭 天の主宰神へ (祈り手：トウアカンノ) pp.58-59

カンドコロカムイ	kantokorkamuy	天津神
パセカムイ	pase kamuy	偉大なる神
タバンイヨマンデ	tapan iyomante	この熊祭りの
トウイカスケ	tuykaske	贈りものとして
オクユクカムイ	okuyukkamuy	熊の神の
シレツカシ	sir etok kasi	面影に
エリキンアイ	erikin ay	捧る矢で
ネワシリアン	ne wa siri an	あれば
ホシキアイ	hoski ay	先づこの矢を
カムイシレトコ	kamuy sir etoko	尊い神のお許に
エコリキンデ	ekorikinte	お届け
クキシリタバン	ku=ki siri tapan	致します

㊹本祭 子グマの親神へ (祈り手：ナンケアイヌ) p59

カムイハンベ	kamuy hampe	神の親神たちへ
ピリカイモカネ	pirka imoka ne	心をこめたお土産ものとして
チオイクシ	cioykus	お送り
イランマカカ	iranmakaka	致すもので
シリタバンナ	siri tapan na	あります

㊺本祭 子グマへ (祈り手：トウアカンノ) p66

クコロポンエペレ	ku=kor pon epere	小熊よ
イヤイライケレ	iyayraykere	有難う
イオンカミレ	ionkamire	拝みませ
アコロタブカラ	a=kor tapkar	汝の振舞
アコロネウサラ	a=kor newsar	汝の態度は
ピリカクス	pirka kusu	実に立派であつた
カムイネヤツカ	kamuy neyakka	神々も
ピリカエネウサラ	pirka enewsar	よい催しと観賞せられ
オオマサマ	oomasama	それと同様に
ウタツウラノチエネウサラ	utar turano ci=enewsar	私共にも楽しみ嬉しい

ピリカシリヤイライケネ	pirka siri yayrayke ne	よい行事と有難く
クキワアンナ	ku=ki wa an na	感謝して居ります
タネワノアコロコソデ	tane wano a=kor kosonte	これより汝の衣装を
アイヌモンカ	aynu monka	私共の手に
エカシヌカラベイキワクス	ekasnukar pe iki wa kusu	お授けをいただき
イオンカミレ	ionkamire	拝みまして
クキワアンナ	ku=ki wa an na	感謝いたします

㊸本祭 子グマへ (祈り手：アツミヤシクル) p67

カムイボネペレ	kamuy pon epere	神の子熊よ
タパンタネパクノ	tapan tane pakno	これまでお前を慈しみ
アレスカワシラン	a=reska wa sir an	育てて来たのであつたが
シトウサ	sito usa	こゝに餅も
トトネヤツカ	tonoto neyakka	お酒も
イナウトウラノ	inaw turano	御幣も
カムイエカシ	kamuy ekas	神の父
カムイトツト	kamuy totto	神の母の
エコタ	ekota	御許へ
イモカコロワ	imoka kor wa	お土産ものとして
オマン	oman	持たせます
クスネナ	kusu ne na	何卒気嫌よくお持帰り下さい

㊹本祭 子グマへ (祈り手：一般参列者) p67

クコロポンオペレ	ku=kor pon epere	小熊よ
オクユクカムイ	okuyuk kamuy	熊の神さま
イヤイライケレ	iyayraykere	有難う
イオンカミエレ	ionkamire	拝みます

㊺本祭 踏み舞 (演じ手：アツミヤシクル) p69

イヤイライケレ	iyayraykere	有難や
タパンモンベツコタン	tapan mompet kotan	この紋別の地は

テエタワノ	teeta wano	その昔
ニシバパテク	nispa patek	偉いアイヌばかりが
ポロンノ	poronno	沢山
コタンコロワ	kotankor wa	居られた土地でした
スランコロカ	sir an korka	けれども
ニシパオピツタ	nispa opitta	その人達も
シチュポアシラン	sicupu a sir an	少なくなつて
アロオカケタ	ar okake ta	その後は
シサンパテツクコタンコロワシラン	sisam patek kotankor wa	和人ばかりの土地となつたのに
カムイオポイスサム	kamuy opoysam	神の子熊が取持つて
メトウスカムイ	metotuskamuy	熊の神のお力で
インネワノ	inne wano	大勢の和人が
ウタツウラノ	utar turano	我等と共に
ヌサタブカラ	nusatapkar	神前の行事
アンタプカレ	an=tapkare	儀式を
シリタバanna	sir tapan na	致します

㊦本祭 踏み舞 (演じ手：ハウトムテイ) p70

タバn	tapan	この
ウシノツ	usinot	祭場の
タバnザシ	tapan casi	遊び場は
カンナカムイ	kannakamuy	天津神の露の恵みの
ルヤンベアレテ	ruyanpe aste	天もりの水で
ウピリカ	u pirka	いと美はしく
ウライワ	uraye wa	清められ
カムイ オボイサマ	kamuy opoysama	神の子熊の
ピリカタプカラ	pirka tapkar	舞も踊りもみめよく済まし
ウキオカケ	u ki okake	今より往先いつまでも
ラツチウシノツ	ratci usinot	いとも榮ゆる和やかな
ストウリクニ	situri kuni	遊びの場所に
ナンコンナ	nankor na	かへれと祈る

㊸本祭 火の神へ (祈り手：トウアカンノ) pp.76-77

アベフチカムイ	apehucikamuy	火の神へ
イヤイライケレ	iyayraykere	感謝の誠をつくして
イオンカミエレ	ionkamire	御前を拝み奉ります
カムイエネウサラ	kamuy enewsar	神をたたへて
ラツチイタラ	ratcitara	静かに和かに
ピリカサマ	pirka sama	よい行事が
クヌカラヒケ	ku=nukar hike	見られたのは
タバンベアナツ	tapan pe anak	これ皆な
クヤイコカラペ	ku=yaykokar pe	私の力で行はれる
ソモニナンコロ	somo ne nankor	ものではなくして
カムイカラケイトウン	kamuy kar keytum	神の御稜威の
シルトシリ	sirutu siri	現れが進められた
ネナンコロ	ne nankor	ことゝ御礼申します
アベフチカムイ	apehucikamuy	火の神
キメロツクカムイ	kimerokkamuy	山野に住める熊の神より与へられた
パセハル	pase haru	尊い食糧を
ホシキイメツ	hoski imek	誰れよりも先に
チコエプニ	cikoypuni	お捧げ致します故
エチエカラカラアンナ	eci=ekarkar=an na	聞食して下さい
ウタツウラノ	utar turano	我々もまた
カムイハル	kamuy haru	この神の賜物を
エコオンカミネ	ekoonkami ne	おし戴きまして
クキワアンナ	ku=ki wa an na	御礼を申します

㊹後日祭 子グマへ (祈り手：トウアカンノ) p80

オクユクカムイ	okuyukkamuy	熊の神
イヤイライケレ	iyayraykere	有難う御座いました
イオンカミエレ	ionkamire	拝みます
タネアナツネ	tane anakne	最早これより
カムイエオナ	kamuy e=ona	神のお父さん
カムイエウヌ	kamuy e=unu	神のお母さんの御許へ

エコイモカコロ	e=koymokakor	お土産物をもつて
シリタバシナ	siri tapan na	お出かけ下さい
イレスフチ	iresu huci	私達を慈み育ててくれる
アベフチカムイ	apehucikamuy	火の神と
コエトウレンノ	koeturenno	連れて
ヌサコロカムイエカシ	nusakorkamuy ekas	祭壇の神を守られる神さまが
オロワ	orowa	行先を
エリキンソンコ	erikin sonko	教へ導いて下さる故
ピリカノ	pirkano	よくその教へを
エキナンコロナ	e=ki nankor na	守つてお出かけ下さい

参考文献

因幡勝雄・佐藤和利

1990 「イオマンテ・スライド資料について」

『紋別市郷土博物館友の会だより とっかり』11号、紋別市郷土博物館友の会。

萱野茂

1996 『萱野茂のアイヌ語辞典』三省堂。

久保寺逸彦（編）

1992 『久保寺逸彦アイヌ語・日本語辞典稿』北海道教育委員会。

倉光秀明

1953 『上川アイヌ 熊まつり』アイヌ祭祀研究会（北海道護国神社社務所内）。

田村すず子

1996 『アイヌ語沙流方言辞典』草風館。

知里真志保

1973(1960) 「アイヌに伝承される歌舞詩曲に関する調査研究」『知里真志保著作集』2、平凡社。

鍋澤元蔵・扇谷昌康

1966 『アイヌの祈詞』門別町郷土史研究会。

服部四郎（編）

1964 『アイヌ語方言辞典』岩波書店。

（きたはら じろうた・北海道大学アイヌ・先住民研究センター）

Ainu Prayer Text

Asahikawa Ainu's prayer (published in the "KAMIKAWA Ainu Kumamatsuri")

KITAHARA Jirota

Summary:

These texts were told by Tuakanno SUNAZAWA, Nankeainu MONNO, Hautomtei MONNO, Atsumiyashikuru ISHIYAMA, and recoded by Hideaki KURAMITSU in city MONBETSU in Hokkaido on October 25, 1953. 30 prayers texts upon Bear ceremony(iomante) in Ainu northern dialect(Ishikari dialect). Roman transcription.

- | | |
|------------------------------------------|---------------------------------|
| 1. Prayer to the fire goddess | dipper |
| 2. Prayer to the fire goddess | 19. Prayer to the water goddess |
| 3. Tapkar dance | 20. Prayer to the god of pile |
| 4. Prayer to the fire goddess | 21. Prayer to the god of pile |
| 5. Prayer to the fire goddess | 22. Prayer to the cubs |
| 6. Prayer to the guardian of village | 23. Prayer to the cubs |
| 7. Prayer to the guardian of village | 24. Prayer to the cubs |
| 8. Prayer to the god of forest | 25. Prayer to the god of heaven |
| 9. Prayer to the god of wolf | 26. Prayer to the god of bear |
| 10. Prayer to the god of fox | 27. Prayer to the cubs |
| 11. Prayer to the god of owl | 28. Prayer to the god of bear |
| 12. Prayer to the god of bear | 29. Prayer to the god of bear |
| 13. Prayer to the god of cliff | 30. Tapkar dance |
| 14. Prayer to the god of altar | 31. Tapkar dance |
| 15. Prayer to the god of altar | 32. Prayer to the fire goddess |
| 16. Prayer to the god of wren | 33. Prayer to the cubs |
| 17. Prayer to the god of wiesel | |
| 18. Prayer to the Siberian black bellied | |